

【事例紹介】

国際舞台へのパスポート TOEFL iBT®テスト

—より受験しやすくなった TOEFL iBT テスト 変更点のご案内—

TOEFL iBT® test: A Better Test Experience

一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会 (TOEFL®テスト日本事務局)

CIEE Japan

キーワード：TOEFL テスト、英語試験、MyBest スコア

はじめに

1964年に米国非営利教育団体 Educational Testing Service (ETS)によって開発された TOEFL®テストは、これまでに世界で3,500万人以上が受験し、そのスコアは150か国、10,000以上の大学・機関に利用されている世界基準の英語能力測定試験です。主に大学・大学院レベルのアカデミックな場面で必要になる英語力および学術的な課題を遂行する能力を測ります。TOEFL テストは、TOEFL® PBT テスト(ペーパー版 TOEFL テスト)、TOEFL® CBT テスト(コンピュータ版 TOEFL テスト)を経て、現在ではインターネット版の TOEFL iBT®テストが実施されています。¹

TOEFL テストは50年以上にわたる歴史の中でテスト形式の変更など改良を重ねてきましたが、2019年8月1日以降に実施される試験より、テスト時間の短縮、MyBest™スコアの導入、受験申込を行う受験者用個人アカウントページの全面リニューアルなど、受験者にとってよりよいテスト受験体験を提供できるよう変更が加えられました。また再受験の際の受験間隔も12日間より3日間に短縮され、より多くの受験機会を提供できるようになり、スコア通知までの期間もテスト日から約10日かかっていたものが、約6日に迅速化されました。本稿では、TOEFL iBT テストの変更点、新フォーマットに対応したテスト準備教材、そして世界で利用される TOEFL テストの最新情報について紹介します。

より受験しやすくなった TOEFL iBT テスト 変更点のご案内

(1) テスト時間の短縮

2019年8月1日以降に実施されている TOEFL iBT テストは、次ページ表の通り Reading、Listening、

¹ インターネットが使用できない地域では TOEFL® Paper-delivered Testing (改定版 TOEFL ペーパー版テスト)を実施。

Speaking の3 セクションにおいて問題（設問）数が少なくなりました。その結果、全体の試験時間が従来のテスト時間より30分短くなり、3時間に短縮されました。

	変更前	変更後
セクション	2019年7月31日まで	2019年8月1日以降 * 下線部分が変更点
Reading 各問題の設問数が削減	問題：3-4題（各12-14問） 時間：60-80分	問題：3-4題（各 <u>10問</u> ） 時間： <u>54-72分</u>
Listening 講義問題数が削減	講義問題：4-6題（各6問） 会話問題：2-3題（各5問） 時間：60-90分	講義問題： <u>3-4題</u> （各6問） 会話問題：2-3題（各5問） 時間： <u>41-57分</u>
Speaking 問題数が削減	Independent task：2問 Integrated task：4問 時間：20分	Independent task： <u>1問</u> Integrated task： <u>3問</u> 時間： <u>17分</u>
Writing 変更なし	Integrated task：1問 Independent task：1問 時間：50分	Integrated task：1問 Independent task：1問 時間：50分

具体的には、Reading セクションでは出題される3～4題に対し、これまでは各題12～14問の設問がありましたが、各題10問に削減され、解答時間も60～80分から54～72分に短縮されました。また Listening セクションでは、4～6題出題されていた講義問題が3～4題に削減され、解答時間は60～90分から41～57分に変更になりました。Speaking セクションについては、従来のテストでは Independent task が2問、Integrated task が4問の計6問が出題されていましたが、新フォーマットでは Independent task が1問、Integrated task が3問の計4問になります。解答時間も20分から17分に短縮されました。Writing セクションに変更はなく、これまで通り Integrated task が1問、Independent task が1問の計2問を50分で解答します。

なお、Reading、Listening の両セクションでは、採点に含まれないサンプル問題が含まれるため、解答時間に幅があります。サンプル問題は、ETS が毎回同程度の基準でスコアを表示できるようテストを管理したり、新しいタイプの設問が実際のテスト環境でどのように機能するかを確認したりするためのものです。サンプル問題は7月31日以前の TOEFL iBT テストでも出題されていたので、

この点に変更はありません。

今回の問題数の削減・時間短縮に伴うテスト形式や出題形式、スコアスケールの変更はありません。従ってテストの信頼性はこれまでと同じく確保され、受験者の英語運用能力を高い精度で測定しています。

(2) MyBest™スコアの導入

MyBest スコアとは、受験者の過去2年間の有効な全ての TOEFL iBT テストスコアから各セクションの最も高いスコアを組み合わせたスコアのことです。2019年8月1日以降に発行される全ての TOEFL iBT テストスコアレポートには、毎回、各テスト日の試験結果（Test Date スコア）と併せて、この MyBest スコアが自動的に掲載されます。

MyBest スコアの導入により、受験者は、スコア受取先に過去2年間に受験した各セクションの最高スコアとその合計点を提示することが可能となり、その結果、より多くの大学等の志望先の出願（スコア）要件を満たすことができるようになります。また入試担当者にとっても志願者の英語運用能力をより良く知ることができ、選抜の際に役立つものと考えます。

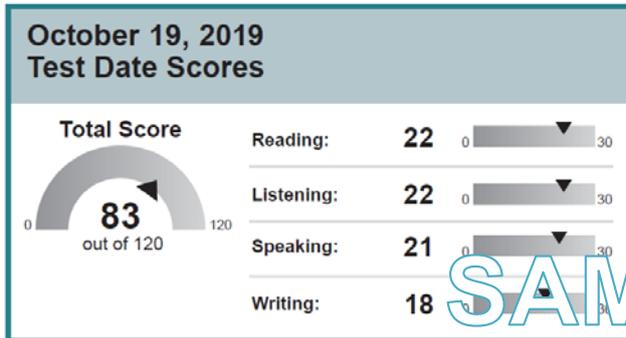
TOEFL iBT テストを2回受験した受験者を例にとって詳しく見てみましょう。下表は受験者の各テスト日のスコア（Test Date 1、Test Date 2）と MyBest スコアを表しています。例えば、大学出願のためのスコア要件が各セクションスコア 18、総合スコア 80 の場合、Test Date 1 および Test Date 2 のそれぞれのテスト日のスコアでは要件を満たしていませんが、各セクションの最も良いスコアを抽出し受験者のベストパフォーマンスを表示する MyBest スコアでは、各セクションスコア、総合スコア共にスコア要件を満たしていることとなります。

【MyBest スコアの例】

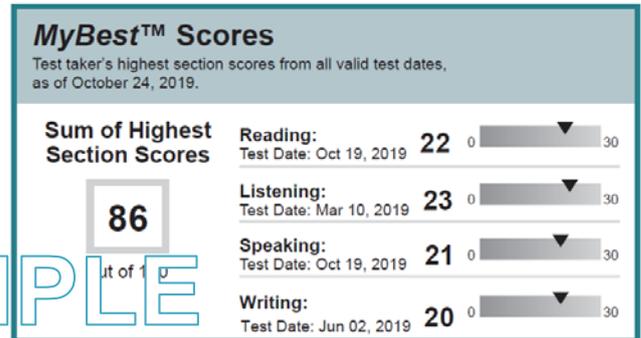
Section	Test Date 1	Test Date 2	MyBest™ Score
Reading	<u>20</u>	19	20
Listening	<u>22</u>	20	22
Speaking	17	<u>20</u>	20
Writing	17	<u>19</u>	19
Total Score	76	78	81

【スコアレポートの表示例】

<Test Date スコア>



<MyBest スコア>



MyBest スコアの妥当性は、superscores に関する外部研究や ETS 独自の研究により、その他の一般的なテストスコア(直近のスコア、平均スコア)と同様であることが確認されています。² なお MyBest スコア導入に伴う TOEFL iBT テストのスコアスケール、CEFR との関連性の変更はありません。

MyBest スコアの取扱いは、スコア受取先の大学・機関によって異なります。出願の際には、必ず出願先の募集要項やホームページで要件を確認してください。

(3) 再受験時における受験間隔の短縮

これまで TOEFL iBT テストでは、再受験をする際にはテスト間隔を 12 日間空ける必要がありましたが、この受験間隔が 3 日間に短縮されました。日本では週末の土日にテストが実施されていますが、受験間隔が 3 日間に短縮されたことによって、テスト日によってはテスト会場に空席がある限りテストを受験した翌週に再受験することが可能になりました。出願やスコア提出までの限られた時間の中でより多くの受験機会を提供することは、受験者が目標とするスコアにより早く到達するための一助となるでしょう。

(4) 採点期間の短縮によるスコア通知の迅速化

2019 年 10 月 26 日実施のテスト以降、受験者はテスト日から約 6 日後にオンラインでスコアを閲覧することができるようになり、これまで通知に約 10 日間かかっていた期間が半分近くに短縮されました。また、公式スコアレポートもこれまでより早いテスト日から約 11 日後に志望団体に送付されます。

² My Best™ Scores: A Rationale for Using TOEFL iBT® Superscores
https://www.ets.org/s/toefl/pdf/mybest_su.pdf

(5) 受験者用個人アカウントページ「My TOEFL Home」のリニューアル

テスト日程・会場検索、受験申込、スコアの確認、スコアレポートの送付手続などを行う TOEFL iBT テスト受験者用の個人アカウントページ「My TOEFL Home」も全面リニューアルされました。このリニューアルによって、全ての Apple® および Android™ デバイスからの利用が可能になりました。また日本語表示や、Google Maps™ での会場検索機能が加わるなど、さらに受験者にとって利用しやすくなりました。「My TOEFL Home」は以下の URL より作成可能です。

My TOEFL Home : www.ets.org/mytoefl

新テストフォーマットに対応した準備教材

ETS では、2019 年 8 月 1 日以降のテストフォーマットの変更に伴い、新しい問題数に対応した準備教材もご用意しています。

これから TOEFL iBT テストの勉強を始めるといふ初学者には、ETS が提供する無料のオンライン講座「TOEFL® Test Preparation: The Insider's Guide」がお勧めです。ETS のインストラクターが TOEFL テストの全セクションについて英語で解説するビデオを見たり、サンプル問題、ショートクイズなど様々な素材を使用して TOEFL テストについて知るインタラクティブな講座内容です。登録から 6 週間は無料で受講できるので、ぜひチャレンジしてください。

「TOEFL iBT® Free Practice Test」は、TOEFL iBT テストの全 4 セクションについて、テスト時間が短縮された新フォーマットと同じ問題数をご自分のパソコンで体験することができます。³ Reading、Listening セクションは解答付き、Speaking、Writing セクションもサンプル回答が付いているので、回答の際のヒントが学べます。無料で繰り返し利用できるのも、自己学習にご利用ください。

またインターネット形式で受験する TOEFL iBT テストの対策には、テスト本番と同じ環境での学習、つまり PC を利用した学習をお勧めしています。「TOEFL iBT® Complete Practice Test」は、過去に実際のテストで出題された問題を使って作成されていて、画面操作もほぼ本番と同じなので模擬試験としてご利用いただけます。また自動採点機能により Speaking、Writing セクションを含めた全てのセクションのスコアも確認できるので、ご自分の実力試しやテスト受験直前の最終確認に最適です。

上記でご紹介した準備教材は以下の Web サイトよりご利用いただけます。

- ・ TOEFL® Test Preparation: The Insider's Guide
www.ets.org/toefl/insidersguide
- ・ TOEFL iBT® Free Practice Test
www.ets.org/toefl/ibt/prepare/free_practice_test

³ Free Practice Test は TOEFL iBT テストのシミュレーションではなく、一般的なテスト体験を提供することを目的としているため、一部の機能は実際のテスト受験の際に画面に表示されるものとは異なる。

・ TOEFL iBT® Complete Practice Test (TOEFL® テスト公式教材ショップで購入可能)

www.ciee-onlineshop.jp/fs/cieeonlineshop/online/tpo

国内の大学入試から海外留学、就職までグローバルに活用できる TOEFL®テスト

TOEFL iBT テストは、海外留学の際の入学選考の他にも、奨学金選考、海外派遣選考、単位認定など様々な場面で利用されていて、近年では日本国内の大学入試や単位認定での活用も進んでいます。2018年に弊協議会で実施した調査によると、337校（有効回答数560大学）の大学が、一般入試、AO入試、外国人留学生入試、帰国子女入試、指定校推薦入試などの入学選考において、TOEFL iBT テストのスコアを利用していることがわかりました。また単位認定で利用している大学も232校（有効回答数518大学）に上りました。⁴

また海外に目を向けると、米国、カナダはもちろんのこと、英国では Russell Group⁵ の構成団体すべてを含む98%以上の大学、そしてオーストラリアとニュージーランドでは全ての大学で利用されるなど、世界の幅広い国に受け入れられています。また TOEFL テストはフランス、ドイツにおいて推奨されており、カナダでは特に大学院課程で活用されています。⁶ ぜひ TOEFL テストを受験して、皆さんの「海外留学」という夢を叶える第一歩を踏み出してください。

TOEFL®テストに関するリンク

1. CIEE Japan TOEFL iBT®テスト 団体・教職員向けサイト <https://www.toefl-ibt.jp/>
2. CIEE Japan TOEFL iBT®テスト 学習者向けサイト <https://www.cieej.or.jp/toefl/>
3. ETS TOEFL®テスト公式 Web サイト <https://www.ets.org/toefl>
4. ETS TOEFL® Go Anywhere <https://www.toeflgoanywhere.org>



1



2



3



4

※TOEFL および TOEFL iBT はエデュケーショナル・テストング・サービス (ETS) の登録商標であり、CIEE Japan は ETS の許諾の下に使用しています。

⁴ 出典：一般社団法人 CIEE 国際教育交換協議会 TOEFL 事業部編「TOEFL iBT®テストスコア利用実態調査報告書 2018 年版」

⁵ <https://www.russellgroup.ac.uk/>

⁶ 出典：<https://www.toeflgoanywhere.org/what-is-toefl>